

## 3分野の計画統合((仮称)総合福祉計画)に関する考え方

### 1 計画統合の背景

#### 背景

- **複雑化・複合化**している課題の中で、単独の分野での検討ではなく、**幅広い視点**での施策の検討が必要
- **重層的支援**を進める中で、地域福祉・障がい福祉・高齢福祉が**重なる領域が拡大**し、一体的な推進を要求
- 社会福祉法の改正における**権利擁護支援拡充**に対応した福祉行政の展開  
(中核機関法定化、身寄りのない高齢者支援、新たな日常生活自立支援事業の実施)
- 支援人材を含む**担い手不足**は分野を問わない課題
- 急速な社会環境への変化に対応するため、**方針**としての計画本編と、**実行**するための**進捗管理**の整理

#### 統合の 考え方 (方針)

芦屋市**全体**として目指す**福祉の方向性**を明らかにしながら、**俯瞰的に施策を検討し**、  
分野を問わず**連携**して取組を推進していくために  
計画の**統合**を行うもの

- 分野を問わない支援の検討
- 庁内や多機関の連携推進
- 制度福祉に止まらない社会参加・地域づくりの推進
- 法定計画としての位置づけと実務におけるプランの整理

### 2 (仮称)総合福祉計画の理念

#### 【現行計画の理念】

地域福祉計画	みんなの参加と協働により、誰もが心地よく暮らせる共生のまちづくりを進めます
障がい者(児)福祉計画	障がいのある人もない人も、住みなれた地域で自分らしく輝いて暮らせるまち 芦屋
すこやか長寿プラン 21	高齢者がいつまでも、いきいきと安心して暮らせるまち

#### 【次期計画の理念に組み込みたい要素】

・共に生きる(共生)	・自分らしく	・誰もが(包摂)
・心地よく	・生き生きと	・住み慣れた地域で
・支え合い	・主体性(参加)	・つながり(絆)
・尊厳	・持続可能	・住み続けられる など

### 3 計画統合化の戦略

